

今後に向けた支援機関ネットワークの方向性

2013年5月29日
全国イノベーション推進機関ネットワーク
梶川 義実

ものづくり技術を活用した質の高い医療サービスの実現

医療・看護・介護機器開発を促進するための現状の課題

医療現場



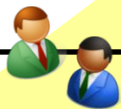
- ・課題を発表する場がない。
- ・解決策を有するものづくり企業との出会いの場がない。

地域のものづくり企業



- ・医療現場のニーズを知らない。
- ・薬事法等、参入の方法を知らない。
- ・市場規模等、事業性を評価する情報がない。
- ・資金不足、人材不足。
- ・製造販売の認可が取得しづらい。
- ・ISOなど、取得すべき認可が多い。
- ・ニーズに応える製品開発ができない(中小企業の高度化が必要)。
- ・生産ロットが少なく事業になりにくい(多種少量生産)。

支援機関



- ・参入戦略を支援する人材、ノウハウがない。
- ・参入リスクを低減する支援策がない。
- ・ニーズとソリューションをマッチングする場がない。

金融機関



- ・医療機器分野に対する事業性評価ができない。
- ・医療機器分野に関する支援ノウハウ、人材が不足している。

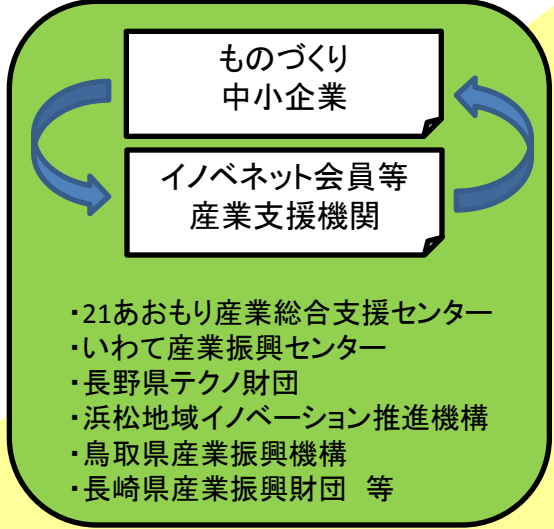
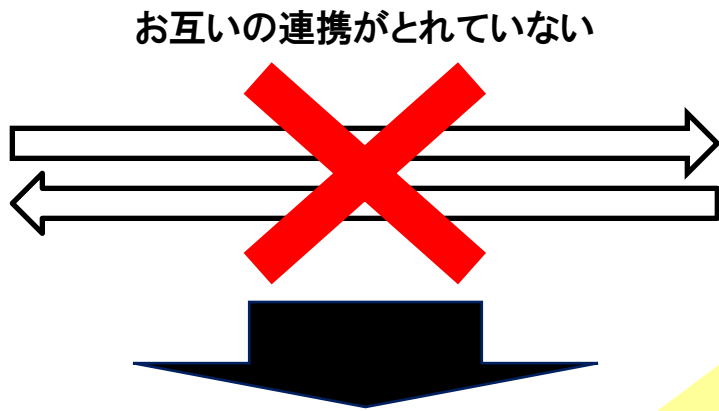
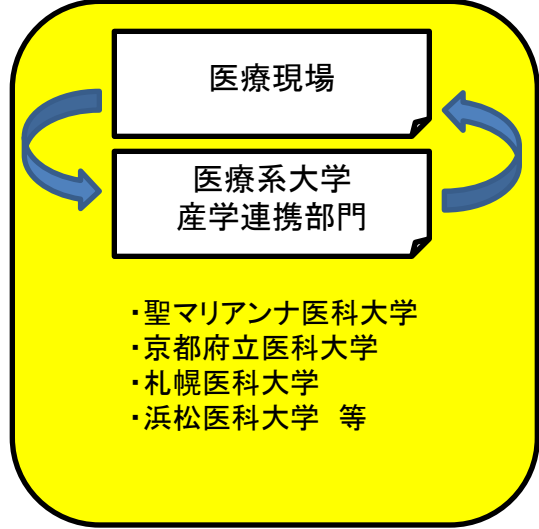
ゴール

- ・質の高い医療サービスの提供
- ・医療現場の環境改善
- ・中小企業の新規分野参入による産業活性化

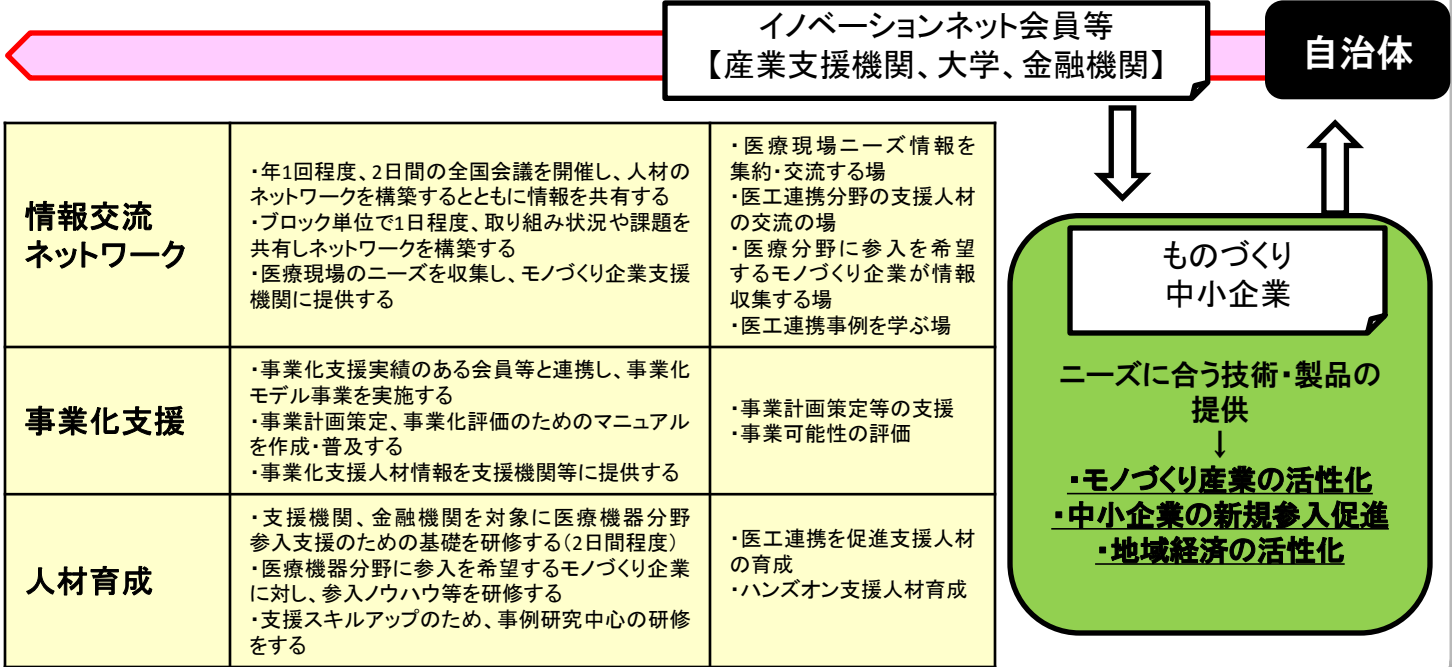
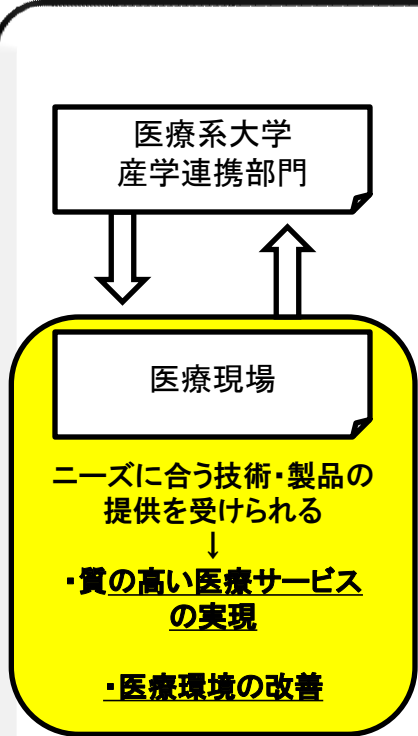
解決策

- ・ニーズ情報を集約する仕組みづくり。
- ・ものづくり中小企業へのニーズ情報提供。
- ・事業化を支援するためのハンズオン支援体制。
- ・医療機器分野への参入を促進するための研修。
- ・広域的なマッチングを可能にするCDの設置。
- ・医療機器に特化したCDの全国会議や地域会議の開催。
- ・分野を超えたコーディネーターの交流の機会創出。
- ・試作・販売段階における資金の補助(金融機関・自治体との連携)。





**イノベーションネット
医工連携プラットフォーム**



ご清聴ありがとうございました！

全国イノベーション推進機関ネットワーク 事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11東京YWCA会館8階
TEL: 03-3518-8973 FAX: 03-3518-8970
URL <http://www.innovation-net.jp> E-mail: innova@jilc.or.jp



INNOVATION
INITIATIVE
NETWORK
JAPAN